

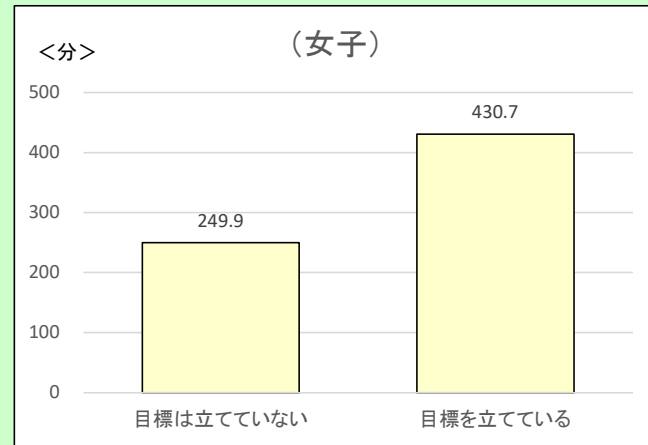
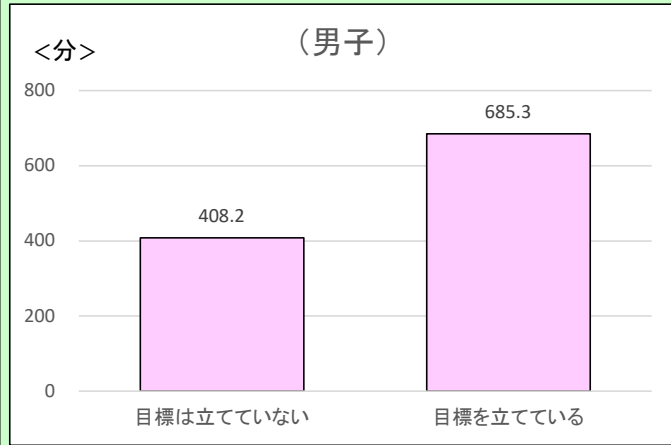
「実技に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」のクロス集計

資料3-2

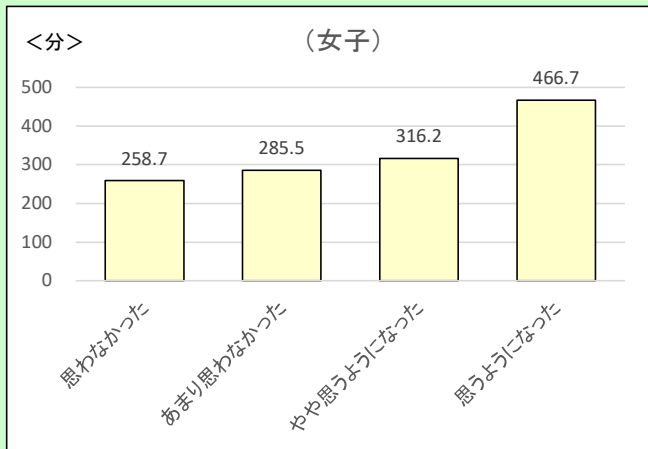
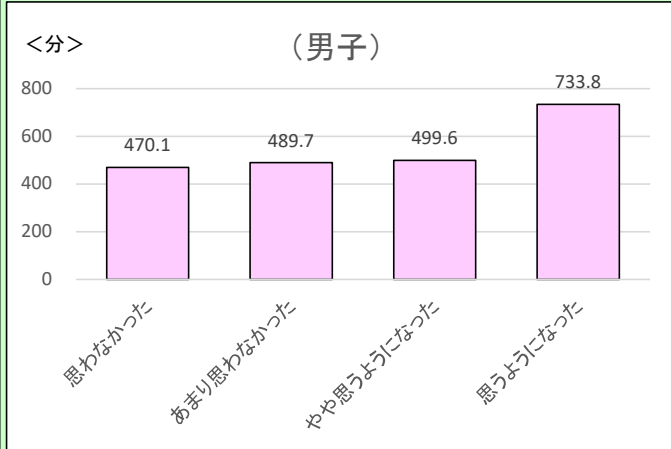
○小学校5年生男子

○小学校5年生女子

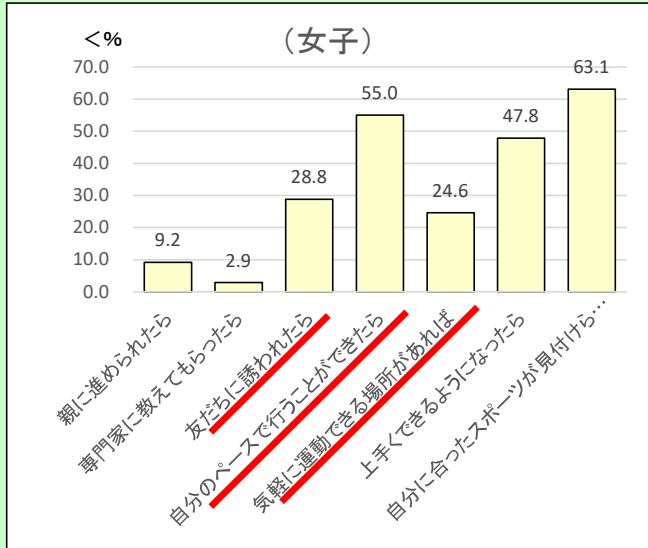
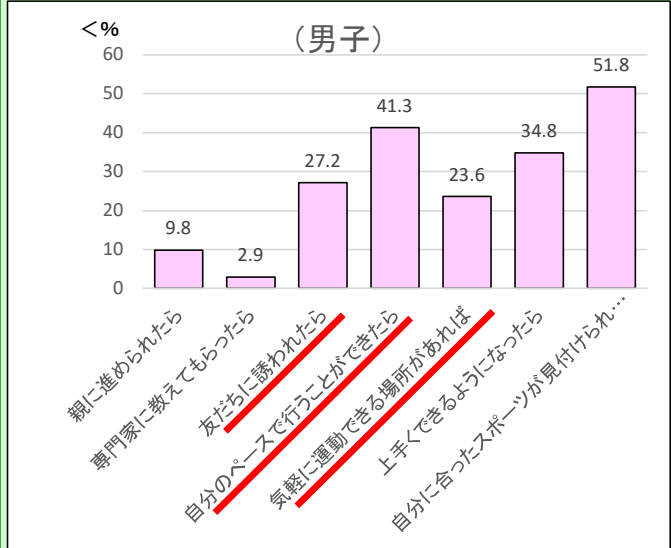
○体力・運動能力向上について、目標を立てているか×1週間の総運動時間



○保健を学習して、もっと運動しようと思ったか×1週間の総運動時間



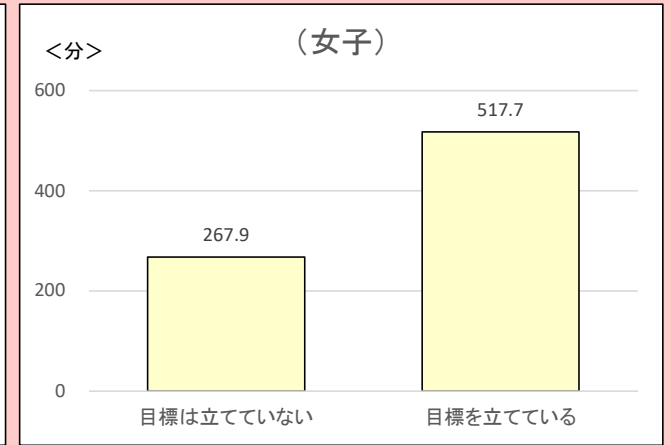
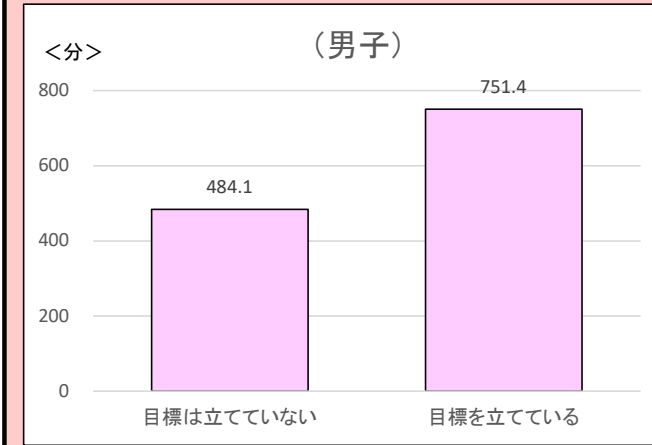
○運動やスポーツが嫌い・やや嫌い×今後どのようなことがあれば運動したくなると思うか



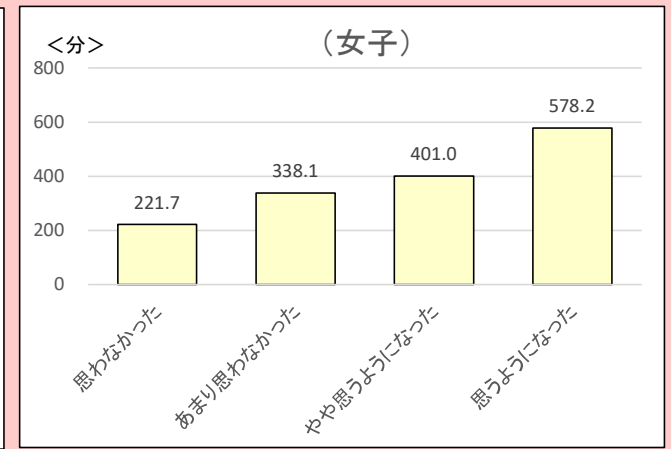
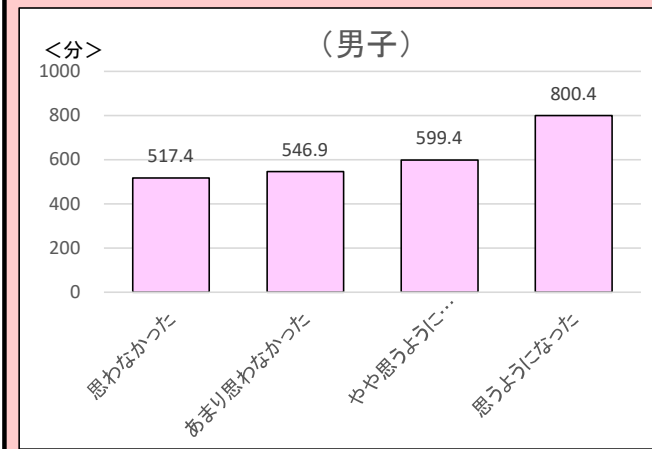
○中学校2年生男子

○中学校2年生女子

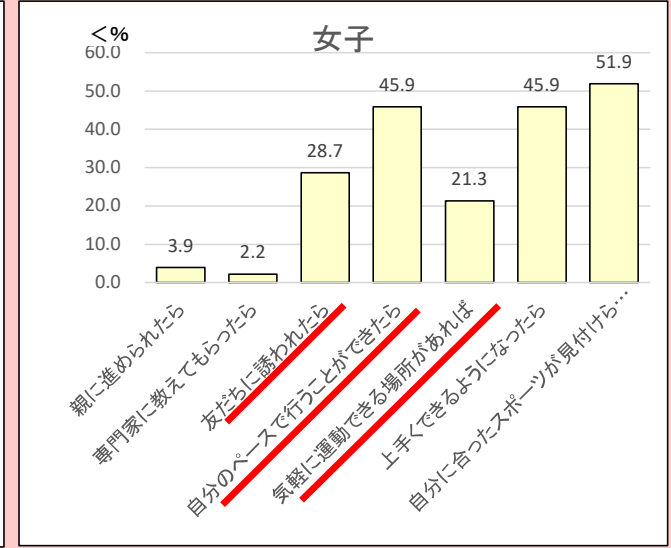
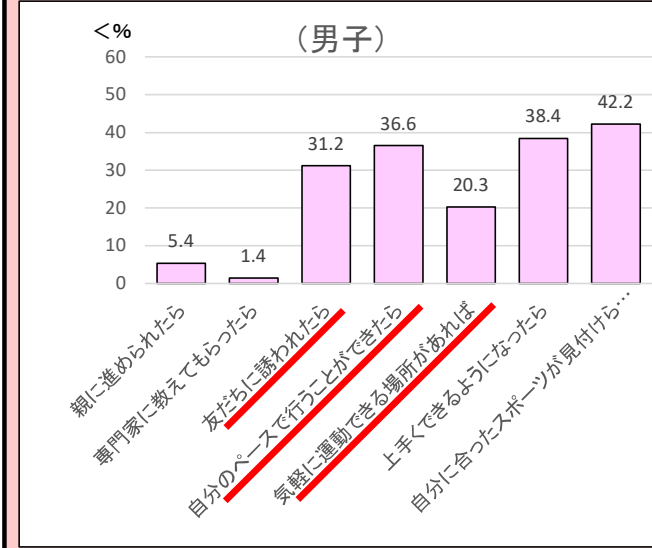
○体力・運動能力向上について、目標を立てているか×1週間の総運動時間



○保健を学習して、もっと運動しようと思ったか×1週間の総運動時間



○運動やスポーツが嫌い・やや嫌い×今後どのようなことがあれば運動したくなると思うか



■資料3-2の分析

- ・1週間の総運動時間を延ばすためには、目標を立てて運動をする等の主体性と体育と保健との一層の関連を図った授業を計画し、健康の保持増進の大切さを実感した上で、運動習慣へ関連付けて運動やスポーツを実施することが大切である。
- ・運動が嫌い・やや嫌いと考えている児童生徒が、今後どのようなことがあれば運動したくなるかという分析結果に着目して具体的な取組につなげることが重要である。